

2. 事業の概要と成果	
（１）上位目標	トリンコマレ県内の帰還民（元国内避難民）の生計向上を支援し、帰還民の生活力を改善することで、内戦後の再定住地域の復興に寄与する。
（２）事業内容	（ア） <u>灌漑施設整備事業</u> 現地政府との間で合意したニーズの高い 4 郡の 8 貯水池¹において、貯水池付帯設備（堤防、放水路、水門、制水弁等）の修復と整備・拡張を農業局および当団体エンジニアの監督の下、対象コミュニティの農業組合が工事を請負う形で実施している。 （イ） <u>農業研修事業及び畑作種子配布</u> 上記（ア）の対象地域の裨益世帯（計 323 世帯）に対して、①端境期における換金作物栽培、②有機農法、③水資源管理法、④病害虫対策法、⑤付加価値製品についての研修実施、および研修受講世帯に対する種子配布を、州農業局と調整中である。 （ウ） <u>コミュニティーレベルの酪農家収入向上支援</u> ムトゥール郡の 5 つの酪農家組合²（組合員計 182 名）に対し、「集中的な飼養方法（牛舎で飼葉を与えて 1 日 2 回の搾乳を行う飼養管理法）」に必要な乳牛と資材（妊娠中の乳牛、乳牛と子牛各 1 頭ずつの親子セット、牛舎建設用資材、飼料栽培用機材と苗、ミルク回収缶）の供与を開始した³。当団体と各組合、畜産局の協議で新たに計 20 名の Core Farmer を選出し、組合は上記乳牛と資材の Core Farmer への貸与を開始した。 ・ <u>酪農研修</u> 5 組合から選出された計 25 名（Core Farmer 20 名含む）が、1 泊 2 日でキャンディの国家畜産開発公社が管理する牧場を州畜産局の獣医とともに訪問し、「集中的な飼養方法」の全般的な知識を学んだ。 ・ <u>飼育管理技術研修</u> Core Farmer 20 名と他組合員に、「集中的な飼養方法」の実践とその定着を図るため、畜産局の獣医による飼養管理技術研修⁴を、2013 年 7 月からこれまでに 2 回実施した。 ・ <u>乳製品製造研修</u> 2013 年 8 月 26、27 日、組合員および組合からの推薦者 20 名を対

1 各貯水池名と裨益世帯数は、以下の通り。ゴマランカダウエラ郡ディックウエワ貯水池（28 世帯）、同郡クダウエワ貯水池（16 世帯）、モラウエワ郡クダパニケティヤワ貯水池（20 世帯）、同郡ティンビリウエワ貯水池（30 世帯）、クッチャベリー郡プリヤンクラム貯水池（54 世帯）、同郡ティヴァナーヤキクラム貯水池（23 世帯）、同郡ボイカイクラム貯水池（53 世帯）、ムトゥール郡マラヴァットウクラム（99 世帯）。合計世帯数は、323 世帯。申請書では「現在の利用世帯数」を 313 世帯と記載したが、これは各郡行政事務所からの聞き取りによる数値。上記世帯数（323 世帯）は、本事業で貯水池修復作業開始の際、各農民組合から組合員のリストを入手し、組合を管轄する Development Officer の承認を得た数値。

2 各組合の所在村および組合員数は、以下の通り。チェナイユール村（34 人）、カダイパルチャン・ノース村（34 人）、カダイパルチャン・サウス村（43 人）、キリベッティー村（40 人）、ジンナ・ナガール村（31 人）。

3 8 月 30 日現在、すべての資材の供与は完了し、乳牛残り 7 頭の供与も数週間内に完了予定である。

4 これまでの主な研修内容は、以下の通り。①乳牛の出産前後および出産した子牛の飼育管理法、②乳牛の疾病の種類およびその対処法、③衛生的搾乳法およびその保管法、④繁殖時期の特定方法、⑤飼料の種類とその準備方法。

（様式 3）

	象に研修を実施し、参加者は畜産局職員の指導によりミルクトフィー、カード（凝乳）、アイスクリーム等、地域で製造し販売が期待できる付加価値製品の製造方法や衛生的な品質管理について、実際の調理を通じ習得した。
（３）達成された効果	（ア） <u>灌漑施設整備事業</u> ８ヶ所の貯水池にて修復・整備を実施中であるため、期待される効果の測定はその完了を待つ必要がある。 （イ） <u>農業研修事業</u> 期待される効果の測定には、上記研修および畑作種子配布の実施を待つ必要がある。 （ウ） <u>コミュニティーレベルの酪農家収入向上支援事業</u> 乳牛を組合から貸与された Core Farmer は、研修で習得した乳牛の飼育技術を実践している。Core Farmer は昨年に引き続き、第 1 期事業で支援した公営ミルク工場や近隣の民間ミルク工場に牛乳を卸して、収入を得ている。今後も研修の継続と畜産局と連携した定期的なモニタリングを通して、同法のさらなる定着、牛乳販売による酪農家の収入向上を促進する予定である。
（４）今後の見通し	（ア） <u>灌漑施設整備事業</u> 本年は例年に比べ雨季が長引いたため、貯水池の水がはけるのを待ち、整備の開始が 1～2 か月ほど遅れたが、農民組合との連携によって現在はその遅れをほぼ取り戻し、概ね計画通り作業が進んでいる。雨季が本格化するまでに 4 郡 8 貯水池での作業完了を見込んでいる。 （イ） <u>農業研修事業</u> 本年 10 月から 11 月にかけて対象 8 貯水池での研修を州農業局と行う計画である。同研修参加者を対象に、2014 年 1 月下旬に換金作物の種子配布を行う予定である。 （ウ） <u>コミュニティーレベルの酪農家収入向上支援事業</u> 引き続き、飼育管理技術研修を 1 ヶ月に一回程度、畜産局と実施する。さらに、定期的な戸別モニタリングを通して、「集中的な飼養方法」の定着と牛乳販売による収入向上を図っていく。10～11 月に、組合の組織強化を目的とした<u>組合マネジメント・会計研修⁵</u>を、郡行政事務所と行う予定で調整している。11～12 月以降、Core Farmer による回転基金の返済が開始され、各組合で基金制度の管理が始まる見込みである。本研修内容を活かして、各組合で適切に同基金が管理・運営されるよう、モニタリングを行う。2014 年 2 月には、「集中的な飼養方法」を組合員及び地域住民に普及させるべく、<u>酪農家組合内研修（ファームデイ）</u>を畜産局と実施する計画である。

⁵ トレーニング内容は、①組合組織運営およびその法的責任、②会計処理方法、③回転基金制度の運営方法を検討している。